

江田島市議会議員定数及び議員報酬に係るアンケート調査
集計結果

江田島市議会改革推進特別委員会

令和6年12月

目 次

I アンケート調査の概要

II 調査項目

III 集計結果

I アンケート調査の概要

1 調査の目的

江田島市議会では、令和6年2月に「議会改革推進特別委員会」を設置し、江田島市の将来像を見据えた、議員定数や議員報酬の見直しについて調査・研究を進めている。

こうした中、今後の協議の参考とするため、地域で活動する団体に対してアンケート調査を行うこととした。

2 調査方法

- (1) 対象者 市内で活動する22団体の代表及び副代表
- (2) 対象者数 38人
- (3) 調査期間 令和6年11月18日から12月2日まで
- (4) 回答 郵送による
- (5) 回答者数 26人
- (6) 回答率 68.4%

3 留意事項

- (1) 調査対象を団体の代表及び副代表等とし、回答に際しては記名だけでなく匿名での回答も可とした。
- (2) 調査内容を3問とし、簡潔な選択制としたことで参考人から回答が得られやすい構成とした。

4 質問項目

次ページ参照

5 送付資料

「令和6年度 議会のしおり」

【資料1】江田島市議会議員定数の検討について

【資料2】江田島市議会議員報酬の検討について

Ⅱ 調査項目

江田島市議会議員定数及び議員報酬に係る御意見

(お名前： _____ ・匿名)

項 目	内 容
質問 1	<p>現在の議員定数は16人です。議員定数について14人、15人、16人の3案を検討しています。</p> <p>貴方が適当と思われる議員定数と、それを選択した理由について御意見を 資料 1 参照 お願いします。</p>
意見 1	<p>① 14人がよい ② 15人がよい ③ 16人がよい</p> <p>④ その他 (_____)</p> <p>(いずれかに○印をしてください。)</p> <p>理由</p>
質問 2	<p>現在の議員報酬月額は、議長 410,000 円、副議長 355,000 円、議員 325,000 円です。今後の議員報酬はどうあるべきと思いますか。 資料 2 参照</p>
意見 2	<p>① 増やすべき ② 現状維持 ③ 減らすべき</p> <p>(いずれかに○印をしてください。)</p> <p>理由</p>

Ⅲ 集計結果

質問 1

現在の議員定数は16人です。議員定数について14人、15人、16人の3案を検討しています。貴方が適当と思われる議員定数と、それを選択した理由について御意見ををお願いします。 資料1参照

①14人がよい	14人
②15人がよい	4人
③16人がよい	6人
④その他	2人(うち14人若しくは15人 1人)

意見 1

理由及び自由意見

【①14人がよい】

- ・江田島市の人口推移から、年間で500人の人口減がある中、5年後には18,000人台となっていると見込まれるのではないかと思います。そのため2人減がよいと思いました。面積は広いですが、合併して20年が経つのに旧町単位の考えかたが強すぎると感じています。ひとつの市として考えるべきだと思います。
- ・人口減少が続き、必要とされる議員も減っていくことは仕方ないと思います。多くの地域の方からの声を聞くことが大事だと思いますが、SNS等の活用で聞く手段も増えていると思います。
- ・普段は島のために役立っているのか分からない。給料も下げてもよいと思う。
- ・人口に対する議員定数が高すぎると感じています。議員一人当たりの人口は約1,200人のため、議員定数を2名削減したとしても、江田島市議会の質の低下はないのではと思います。
- ・人口が2万人を切る現状において、今後の人口減少を考えると14人が妥当であり、定数減を行うタイミングとしても適当であると考えられるため。
- ・財政等、又、人口など加味して、少なくしても良いかと思います。(竹原市の議員数が14人の事からも。)
- ・議員数を増やし、市民の幅広い意見を反映させることも大切だと思いますが、どこに課題があるのか(資質・意欲の問題か、市民側の問題か・・・)現状ではそれが十分に果たせていると思えません。議員の皆さんが個人的に市政の報告会などの活動を耳にしたことがありません。選挙の時だけ顔を拝見するような状況では定員の増減があっても変わらないと思います。真摯に議員活動に取り組んでい

の方も多にお見受けします。我々市民をけん引する役割も大いに発揮してほしいと思います。

- ・今迄業務、仕事どこで動かれているのか不明の方々が数名いる。仕事をやって始めて〇〇円の報酬となるはず。
- ・江田島は、4町合併後20年経ちましたが、年々人口が減少しています。よって議員定数もそれに合わせて削減するべきだと思います。私は①を選択しましたが、10～12人位でも良いと思っています。
- ・合併後20年間で江田島市の人口は1万人強も減少しあと10年もたてば1万5,000人程度になるのは確実な状況にあり、消滅自治体になることへの歯止めがかかっていない。現市政が維持できなくなった場合、広島市か呉市との合併が考えられるが、そうすると江田島市から選出できる議員の数はわずか2～4名程度になると思われる。いずれにしても議員定数は人口の増減によって判断すべきで減らしたくなければ議員報酬を大幅に下げる方法しかないのでは。
- ・できれば12人、先の人口を見通して。
- ・第一に人口減少にあわせて定数も見直すことが大切だと思う。市の課題が増えていますが、議員を増やせば解決するという問題ではないと思います。人数ではなく、内容を濃いものにしていただければうれしいです。
- ・議員が大柿町が多い。あまり活動している様子がない。他市と比べているけど、他市の方とは違うと思う。もっともっと若い方に意見を聞いて、新しい市になっていくように力を出せる方だけで良い。

【①14人がよい ②15人がよい】

- ・人口減の中議員定数を減らすのは当然の措置と考えます。定数減にすれば議員不在の地域が増えると資料にはありますが、現在江田島町4名、大柿町8名、能美町2名、沖美町2名の構成となっており大柿町のみ突出して多くおり不在の議論は破綻していませんか？類似市との比較を出されていますが、類似市の高齢化率はどうでしょうか。消滅可能都市と言われたのは数年前になります。単純に減らせとは思いません。議員報酬を上げ、子育て世帯、引いてはもっと若い人にも議員として親として生活できる水準に上げたうえで定数減を望みます。さまざまな面で客観的に見ても偏りがありすぎる市です。

【②15人がよい】

- ・類似団体の平均値とするのが妥当だと思う。
- ・今どこの自治体も議員の定数削減に向かっていると思われるので、減らしてみるのも良いのではないかと思います。

- ・ 16人だと他自治体と比較し割合が高く、少しでも是正した方がいいと思われる。(課題が多いことも理解はしていますが。)

【③16人がよい】

- ・ 一人でも多くの市民の方に寄り添って頂きたい、声を聞いてあげてほしい。
- ・ 現状の議員定数を16人より更に減らす事によって市民の声が議会に届きにくくなり、市政運営について多様な意見が反映されにくくなる為。
- ・ それぐらいの人数は必要かと思います。がんばってほしいです。

【④その他】

- ・ 他市（岡山県内）では、子育て支援を市の最重要課題として財源をねん出するため、市職員の給与削減、議員定数を大幅に減しているところがある。人口減少があるので将来的に減す必要があると思うが、江田島市として将来にわたり持続可能となるような課題に早急に取り組むことが必要と思う。

質問2

現在の議員報酬月額、議長 410,000 円、副議長 355,000 円、議員 325,000 円です。議員には扶養手当や社会保険、年金等はありません。今後の議員報酬はどうあるべきと思いますか。

資料2 参照

① 増やすべき	10人
② 現状維持	10人
③ 減らすべき	6人

意見2

理由及び自由意見

【①増やすべき】

- ・定数減、報酬増が望ましいと考えます。
- ・若い世代が、市議会に挑戦してほしいと思います。そのために報酬は必要だと思います。ただ増加となると市民の目は厳しくなると思います。議員として大変な活動をされている中、その声に応えようにも市の財政はきびしく、なかなか要望が通らない現状で報酬と成果のバランスが重要ではないかと考えられます。
- ・定数を減にしたうえで物価上昇、また、民間の賃金上昇に見合った増額は、今後なり手の確保の面から必要と思う。
- ・なり手をつくるためにも、議員として働くことで生活できる報酬を支払うべきだと思います。
- ・一般の方の給与や時給が引き上げられているので、同じように議員報酬を上げるべきだと思います。できるのであれば、多く報酬を払って、より良い活動をしていただきたいです。
- ・昨今の物価高からすると増やしてもいいのではないかと。
- ・現役世代の政治参画の面や、今後インフレが進んでいく可能性が大きいことを考えても報酬は引き上げるべきであると同時に、報酬に見合った議会改革や、見える化、広報広聴活動の活性化による市民が納得できる仕組みづくりが必須であると考えます。
- ・これまでも特別職報酬等審議会において意見を申し上げてきましたが、今後、議員のなり手不足が予想される為、若い世代が議員活動に専念する事が出来、議員に安心して立候補できるようにする事が重要であると考えると共に、物価上昇及び急速な民間の賃金上昇に対しても考慮すべきである。

【②現状維持】

- ・この金額くらいが妥当だと思う。今後改革をするのであれば増やしてもよいとは

思う。

- ・今、物価高で給料削減というのは好ましくないとしました。
- ・市政状況を考えると減らすべきかと思いますが、実際難しいかとも思えるので、現状維持を選択しました。
- ・一般的に言えば、議員報酬は安いと思いますが、具体的な活動状や成果が十分に見えない状況や一般質問等を思えば、現状維持でもやむを得ないと思います。議会基本条例がかかげる二元代表制は実現しつつあるのでしょうか。市執行部の提案することにまったく異論はないのでしょうか。地方自治の本旨にもとづいた活動を期待しています
- ・他の市と比較しても高くないので現状維持で良いと思う。市のためになっている議会であるかどうか。市民に議会はよく頑張っていると認識されることが議員報酬改正の基礎であると思う。
- ・それぐらいの経費分は必要だと思います。
- ・江田島市の財政状況は非常に厳しいのが現状です。市民の生活苦も考えていただき、議員報酬は現状維持でお願いしたい。ちなみに、自治会では役員すべて無報酬で自治会活動をやっています。この現状を考えると議員の方々も活動が大変だと思いますが、今後とも江田島市の将来と江田島市民のために頑張ってください。よろしくお願いします。
- ・議員の意見を優先していけばいいと思います。上記の話に戻りますが、議員が少なくなり、仕事や問題に合わせて報酬を増やすことも考えればいいと思います。

【③減らすべき】

- ・選挙の前だけ表立ってやるだけで活動は何なのか分からない。ボランティア的なことをする無償の何か。①子供の見守り②ごみ拾い③島全体を見て、改善策
- ・議長が特にやっている仕事が見えてこない。責任の度合いがはっきりしていない。他の委員会（2つ）の方がよく動いている様子。産業厚生常任委員会を二つに分けてはどうですか。手当がいる必要なし、はじめから分かっていること、もう少しやるべき事、当たり前やるべきことをやって求めて下さい。
- ・市民感覚からすると現行の議員報酬は率直に言って高いと思う。その理由としては、①非常勤であり本会議日数も年間50日程度と少なく、兼業等も出来る。②現議員をみると定年後に議員となる者も多く、年金受給等考えると生活給とはいいにくい。③政務活動費15,000円/月に加え本会議等への足代や出張時取扱い等手厚い内容となっている。④無報酬で足代等すべて自分持ちで活動している自治会等各地域の諸団体の役員の立場を考えると議員の扱いとの落差があま

りに大きいのに愕然となる。

- ・江田島市の人口、所得を考慮して。
- ・若い方ならともかく、年配の方が多いので報酬は多い！議長、副議長はそもそももらい過ぎ、何のために多いのか分からない！それだけの仕事をしているようには思えない。これからつぶれそうな市を議員の方はどうしますか？ほとんどの方にその緊張感がないです。若い人が市から出て行くのをどう防ぐかもっと考えてほしい！不安でしかない！

問3

江田島市議会では、2つの常任委員会と2つの特別委員会、そして議会運営委員会があります。それぞれに正副委員長が就いていますが、一般委員と報酬は同じです。委員会では、その職務に対する責任の大きさから、正副委員長への報酬増額についての議論がありました。このことについて、貴方の御意見をお聞かせください。

① 報酬増額は必要	11人
② 報酬増額は不要	10人
③ その他	5人（うち無回答 1人）

意見3

理由及び自由意見

【①報酬増額は必要】

- ・ 役職、内容、実行力、時間的拘束等、説明、説得ができるのなら報酬は必ず上げるべきと考えます。一般市民には委員会を理解・把握することは難しく見えにくい為、しっかり説明、説得ができるのであれば何も問題ないと思います。出身町、地域に拘わらず、議員、市民がもっと近くなるべきです。選出地域以外の市民をもっと知ってください。いずれにしても基本的にそれぞれの職務に自信があるのであれば増やすべきです。
- ・ 仕事が多い人が沢山もらうべきだと思います。
- ・ 何でも人の先頭に立ち、やるということは大変なことだと思うので増額してもよいと思う。
- ・ 多くの自治体で設定されているものなので、江田島でも導入してほしいです。
- ・ 資料2でも示されているように、様々な負担が増えていることから、委員との差別化を図るために報酬増は必要と考える。
- ・ 責任のある仕事ですし、相当の報酬は必要かと存じます
- ・ 正副委員長への報酬については、その職務に対して増額すべきである。
- ・ 一般委員より仕事が多くなると思うから。

【②報酬増額は不要】

- ・ 広島県市内及び全国類似団体の状況を見ても、加算が多数派となっていない。
- ・ 議員さんも市の職員も“奉仕人”であると思います。
- ・ 各委員さんが、それぞれ正副委員長としての自覚をもって活動していただければ幸いです。（なにぶん委員数が少ないこともあるので。）
- ・ 市の財政状況は厳しく他市でも増額しているところは少ないように見うけられる。質問2と同様、議員活動の見える化をはかり市民にしっかり認知していただ

き、それなりの成果を出すことが報酬改定につながると思う。

- ・広島市や福山市のように大きな市に於いてもこのような手当をつけていないのが現状。資料を見るとほとんどの市が委員長・副委員長も手当をつけていない中でこのような議論があること自体理解しがたい。資料によると、委員長・副委員長手当をつけているのはわずかに3市（呉市、竹原市、美祢市）のみ。更に金額も委員長で1万～1万5千、副委員長の多くは5千円程度でたいした問題ではないと思われる。
- ・市の状況が改善されるまで。
- ・責任の大きさと報酬を増やすというのは良くないと思います。違う形で報酬を増額する必要があると思います。責任と報酬は比例しているという考えが古いと思います。
- ・増額する理由が分からない。しんどいのなら代わってもらってください。区の評議員の方たちなど、皆さんは大変なこと（市民のため）をボランティアでされています。こんな税収の少ない市で、考えられない。他市に比べて、地が離れているので、目が届かないと言われるけど、そもそもそんなに市民が頼れない。だったら町ごとに人数を決めてした方が目が届くし意見も聞いてもらえる。増やすことを考えず、やり方を変える工夫をしてほしい！

【③その他】

- ・責任の大きさによる増額というだけでは納得がしづらいので、どのような仕事を行っているのか等分からないことが多くあると思うので、分かるように情報を提示していただくことで増額という流れなら良いと思います。
- ・どちらとも言えません。
- ・大変申し訳ございませんが、業務内容の難易度や業務量等の詳細が分かりませんので、本件に関する明確な回答は差し控えさせていただきます。より具体的な業務内容をお知らせいただけるのであれば、ある程度の判断ができるのではないかと思います。
- ・報酬のことばかり前に出ていますね。何故・・・。あとからついてくるのでないですか。残念です。これから先をみさせて戴きます。中味の濃い問題が出てくるでしょう！
- ・各委員会の正副委員長職務の大変さはよくわかります。ただ、他市町の現状をみると、今回は委員長のみ報酬増額で良いと思います。委員会の責任をしっかりと受け止めてもらい、委員会活動の活性化を期待します。